

① 町所有の建物管理について

本町では、エレベーターを設置している建物が数多くあります。言うまでもなく、エレベーターは人を乗せて各階へと運ぶ機械で、元気な方は健康のため自らの足で階段を昇り目的の所へ行かれますが、足腰の悪い方や高齢者の方、そして身体的に障がいのある方など、ご自分の力で階段を登れない方々には、エレベーターを使い上の階へ移動する上で欠かすことができない機械です。

しかし、その保守点検には多大な経費を要します。人命を預ける機械でもあるため、安全性には細心の注意をはらう事が大事と感じます。その上で、かかる経費を少しでも少なくする作業は必要です。そこで、今まで個別に管理していた保守点検をまとめれば、経費の削減になると思いますが、検討をしていただく価値はあると思います。

この件に関して、以下の項目をお尋ねします。

- (1) 町所有の建物に設置しているエレベーターは何機ですか。
- (2) 保守点検業務のサイクルはどれくらいのスパンで行われていますか。
- (3) エレベーター1機に対しての一年間のランニングコストは幾らでしょうか。
エレベーターについては、設置してからの経年や、長さ、定員などの違いで差があると思いますが、解る範囲で述べてください。
- (4) 点検にかかる時間は、どの程度か尋ねます。
- (5) 保守点検に係る作業、仕組みはどの様になるのか。

② 1人に寄り添う英語教育について

現在本町では、児童生徒に対し熱心な学習指導が行われています。小中学校の時期は、その後の学生生活の基礎を築く大事な時期であります。この時期にどのような教育、学習指導がなされたかで、その後の学生生活での学習への充実が図られていくと考えます。

本町では全国学力テストにおいても常に平均以上の結果を得ているようです。そのような中、更に生徒が課題に対して主体的に取り組む事ができるように、授業の導入や教材の内容、課題等の工夫をし、自主的・自発的に学習に取り組むサポートをしていくやり方も必要と考えます。

英語学習についていえば、「面白い」「もっと学びたい」と意欲的になるように学べるには、良い環境を提供するのも必要と考えます。ALTの配置による授業やオンライン英会話、ICTを使用している現在の授業などで、全体のボトムアップも必要と考える一方で、個別の対策も必要になるのではないかと感じます。そこで、今回は英語学習について焦点をしばってお尋ねします。

- (1) 現在英語が好きだと感じる生徒はどのくらいいるのかお尋ねします。
- (2) ALT活用の現状と成果についてお尋ねします。
- (3) 英語を実際に話す機会が十分に確保できているのか尋ねます。
- (4) 中学校におけるICT環境を活用した個別最適な英語学習の現状と必要性についてお尋ねします。
- (5) オンラインを使用した英会話の導入についての見解を尋ねます。